

「おみくじ型チラシ」の効果の再検証

—3年間の反復調査の結果より—

Re-evaluation of the Effectiveness of "Omikuji-style Flyers":

Results from a Three-year Repeated Survey

鈴木 舞衣¹ 原崎 茜蓮¹

Mai Suzuki¹, Seren Harasaki¹

¹名城大学大学院農学研究科

¹Graduate School of Agriculture, Meijo University

Abstract: This study evaluates the effectiveness of "Omikuji-style flyers" designed to increase the distribution rate of take-away flyers. A previous report at the 14th Forum on Shikakeology was limited to a short-term verification, leaving challenges in demonstrating sustained effectiveness. To address this, we conducted repeated surveys over the following two years and compared data spanning a total of three years. The results revealed a significant increase in the number of flyers distributed in the second year, followed by a decline in the third year. This report provides a multi-faceted analysis of the factors behind these fluctuations and offers insights into the utility and sustainability of this "Shikake".

はじめに

チラシは広告・宣伝の代表的な手法の一つであり、商業施設や学校、駅などで日常的に利用されている。チラシの配布には、人が直接手渡す方法や設置して自由に取っていく方法（置きチラシ）などがある。置きチラシは印刷した用紙を置くだけでよいので配布時の人手がかからないというメリットがある。一方で、気づかれにくい、手に取ってもらえないというデメリットがある。そのためチラシ印刷業者のホームページなどでは、チラシの設置方法の工夫が発信されている[1, 2]。また仕掛学においては、松村（2016）[3]や陳、松村（2024）[4]の報告がある。

このように置きチラシ配布の工夫が提案される中で筆者ら（2024）[5]は、チラシとおみくじをかけた「おみくじ型チラシ」を考案し、置きチラシと比較してチラシ持ち帰り数を 44.8 倍向上させた。しかし、この研究結果は 2023 年の 1 週間におけるものであり、非常に限定的であった。

そこで、おみくじ型チラシの効果の再検証することを目的として、前回以降 2 年間の反復調査を行った。

実験

実験概要

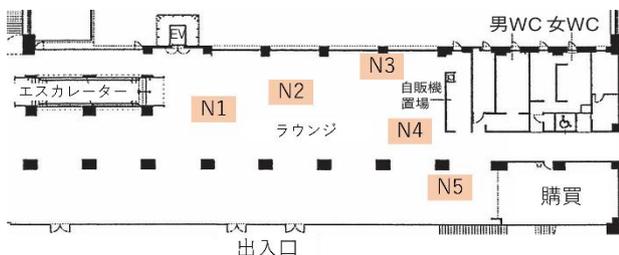
おみくじ型チラシは、表面がチラシで裏面におみくじが掲載されており、おみくじであることを前面に出して配布されるチラシである[5]。本研究では、前回の報告を含めて 2023 年から 2025 年の 3 年間、時期や設置場所の条件をなるべく揃えて実験を行った。一方、チラシやおみくじ型チラシを入れる箱のデザインは宣伝目的に合わせて毎年変更した。また、期間中毎日 18 時以降に残っているチラシの枚数を測定し、前日との差をチラシの配布枚数とした。

設置場所

名城大学天白キャンパス（名古屋市天白区）の共通講義棟北 1 階学生ホールの机上で実施した。共通講義棟北は主要な講義棟の一つであり、建物の入口やエスカレーター、購買などが近く、人通りが多いラウンジである。

以降、各設置場所を以下の通りに示した。また、設置場所のレイアウトを図表 1 に示した。

- N1：下りエスカレーター前
- N2：ラウンジ中央
- N3：カウンター
- N4：中央通路近く
- N5：購買前



図表 1 設置場所

ラウンジ周辺の地図。ラウンジの窓際にはカウンターがあり、中央には可動式の机が並んでいる（机は省略）。

2025 年のみ 5 か所で実施した。これは、2023・2024 年は 4～8 人掛けの机と壁沿いのカウンター席で構成されていたが、2025 年は 2～4 人掛けの机と壁沿いのカウンター席にレイアウトが変更され、机の数が増えたためである。特に記載がない場合は、N1、N2、N5 の 3 か所での結果を用いた。

設置期間

毎年 11 月から 12 月にかけて実施した。置きチラシは 1 週間（平日 5 日間）、おみくじ型チラシは年によって 1 週間（平日 5 日間）から 3 週間（平日 15 日間）設置した。具体的な設置期間を図表 2 に示す。なお、特に記載がない場合、分析には各年 1 週目のデータを用いた。

		開始日	終了日
2023年	置きチラシ	11月22日（水）	11月28日（火）
	おみくじ型チラシ	11月29日（水）	12月05日（火）
2024年	置きチラシ	12月23日（月）	12月27日（金）
	おみくじ型チラシ（1週目）	12月09日（月）	12月13日（金）
	おみくじ型チラシ（2週目）	12月16日（月）	12月20日（金）
	置きチラシ（プラ箱）	11月19日（水）	11月25日（火）
2025年	置き散らし（箱）	11月26日（水）	12月02日（火）
	おみくじ型チラシ（1週目）	12月03日（水）	12月09日（火）
	おみくじ型チラシ（2週目）	12月10日（水）	12月16日（火）
	おみくじ型チラシ（3週目）	12月17日（水）	12月23日（火）

図表 2 各年の実験実施期間

設置詳細

年別の条件比較を図表 3 にまとめた。

	用紙サイズ	おみくじ型チラシ 設置個数	箱デザイン	折り方	机のレイアウト
2023	A4用紙 1/4	3か所	取り出し口に蓋がある	おみくじ様糊付け	大きい机 (4～8人掛け)
2024	A4用紙 1/8	3か所	取り出し口に蓋がある	おみくじ様糊付け	大きい机 (4～8人掛け)
2025	A4用紙 1/8	5か所	取り出し口に蓋がない	3つ折り糊付けなし	小さい机 (2～4人掛け)

図表 3 各年の実験条件の比較

各年の詳細を以下にまとめた。

【2023 年】

設置場所：N1, N2, N5

チラシデザイン：図表 4 (A)

置きチラシの配布方法：図表 4 (B)

おみくじデザイン：

表面は図表 4 (A)、裏面は図表 4 (C)。

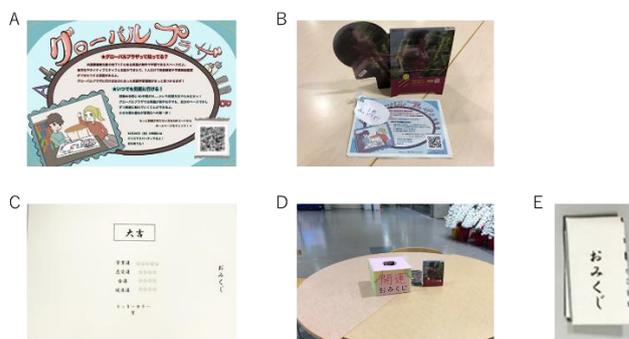
おみくじ型チラシの配布方法：

図表 4 (D)、図表 4 (E)のように折りたたんだ状態で箱に入れた。

チラシは学内の語学学習施設であるグローバルプラザを紹介する内容とした。

置きチラシはチラシの左上に穴を開け、15 枚一束となるように紐で括った。

おみくじ型チラシは折って糊付けを行い、おみくじ様の状態で「開運おみくじ」と書いた箱に入れた。



図表 4 2023 年の実験の様子

【2024 年】

設置場所：N1, N2, N5

チラシデザイン：

表面は図表 5 (A)、裏面は図表 5 (B)。

置きチラシの配布方法：図表 5 (C)

おみくじデザイン：

表面は図表 5 (D)の太線より上側。裏面は図表 5 (E)。

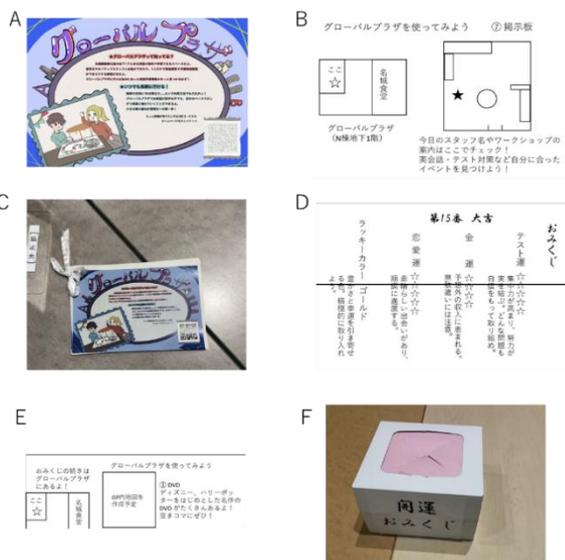
おみくじ型チラシの配布方法：図表 5 (F)

チラシはグローバルプラザを紹介する内容とした。

置きチラシは 2023 年同様に、チラシの左上に穴を

開け、15枚一束となるように紐で括った。

おみくじ型チラシも2023年と同様に、折って糊付けを行い、おみくじ様の状態で「開運おみくじ」と書いた箱に入れた。ただし、グローバルプラザに来場するきっかけを作るチラシにすることを目的としたため、おみくじを上下に分断させ、上半分をチラシ裏面に、下半分はグローバルプラザ内に設置した。



図表 5 2024 年の実験の様子

【2025 年】

設置場所：N1, N2, N3, N4, N5

チラシデザイン：図表 6 (A)

置きチラシの配布方法：

プラ箱は図表 6 (B)。箱は写真なし。

おみくじデザイン：

表面は図表 6 (C)の太線より上側。裏面は図表 6 (A)。

おみくじ型チラシの配布方法：図表 6 (D)

チラシはグローバルプラザを紹介する内容とした。チラシが横長のデザインに変更されたことに伴い、置きチラシ（プラ箱）はダイソーの「マグネットスイングケース トール」に挟む形式で配布した。また、置きチラシ（箱）は、おみくじ型チラシと同じ箱で、装飾にはおみくじの文字ではなく、グローバルプラザの内部の写真を使用した。

おみくじ型チラシは、作成者の負担を考慮して糊付けは行わず、おみくじの文字が前面にくるように折った上で、「開運おみくじ」と書いた箱に入れた。また、2024 年と同様に、グローバルプラザに来場するきっかけを作るチラシにすることを目的としたため、おみくじを上下に分断させ、上半分をチラシ裏

面に、下半分はグローバルプラザ内に設置した。また、箱の取り口は透明のビニールで覆ったが、3 週目のみ中が見えないように白色の紙に変更した。



図表 6 2025 年の実験の様子

結果

【おみくじ型チラシの効果と持続性】

各年度のチラシ配布枚数を、日別で 3 か所合計の数値を用いて図表 7 に示した。

2023 年の置きチラシはほとんど取られず、配布枚数は 5 日間で 2 枚であった。おみくじ型チラシは毎日平均 28.6 枚が取られ、配布枚数は 5 日間で 143 枚であった。2024 年の置きチラシもほとんど取られず、配布枚数は 5 日間で 1 枚であった。おみくじ型チラシは毎日 56.2 枚が取られ、配布枚数は 5 日間で 281 枚であった。2025 年の置きチラシ（プラ箱）は毎日平均で 1.6 枚が取られ、配布枚数は 5 日間で 8 枚であった。また、置きチラシ（箱）は 5 日間とも 0 枚であった。おみくじ型チラシは毎日平均 8.8 枚が取られ、配布枚数は 5 日間で 44 枚であった。

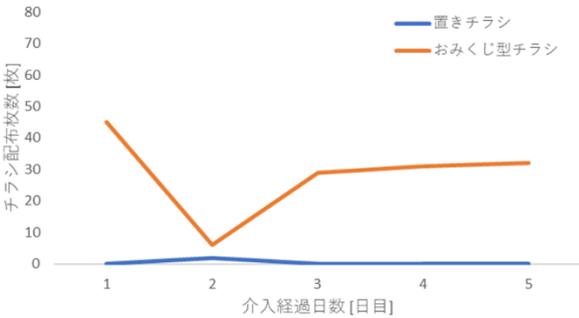
以上より、3 年間すべてにおいて、おみくじ型チラシは置きチラシよりも多くチラシを配布していた。

置きチラシの配布枚数の少なさが目立つが、紐で括った 2023・2024 年の形式、プラスチックの箱に入れた 2025 年の形式（プラ箱）、おみくじ型チラシのように箱に入れた 2025 年の形式（箱）のいずれの形式と比較しても、おみくじ型チラシの方が配布枚数は多かった。また 2025 年は、同じラウンジの机上に通年で設置されている大学広報のチラシ枚数も数えたが、実験期間中に取られた枚数は 0 枚であった。そのため、実験に使用した置きチラシの配布枚数は妥当であるといえる。

このことから、おみくじ型チラシのチラシ配布効果は年度に依存せず、効果を発揮することが明らかとなった。

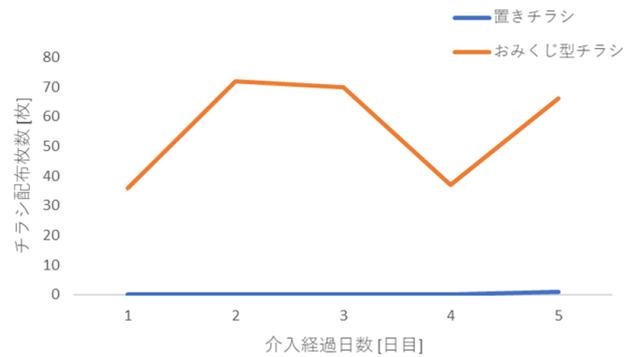
2023年

介入経過日数 [日目]	1	2	3	4	5
置きチラシ [枚]	0	2	0	0	0
おみくじ型チラシ [枚]	45	6	29	31	32



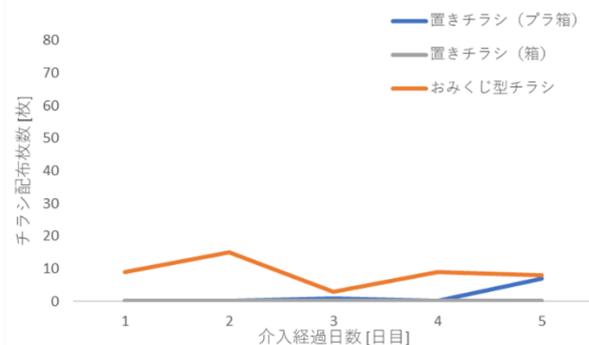
2024年

介入経過日数 [日目]	1	2	3	4	5
置きチラシ [枚]	0	0	0	0	1
おみくじ型チラシ [枚]	36	72	70	37	66



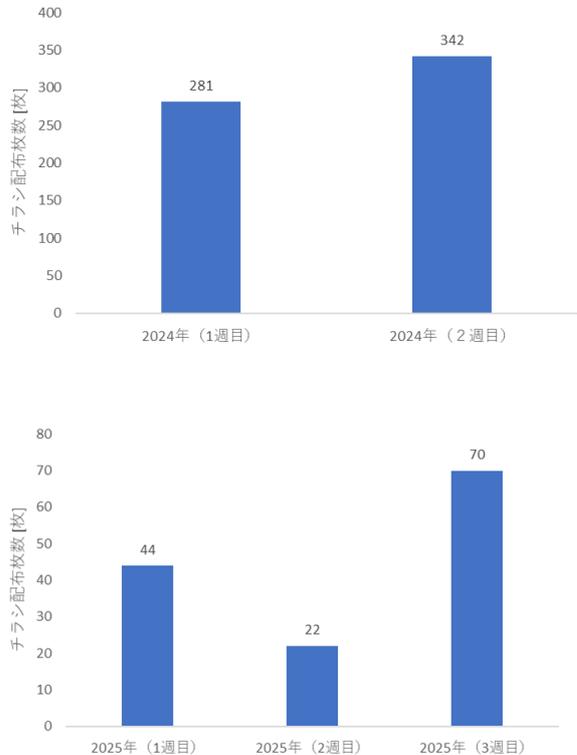
2025年

介入経過日数 [日目]	1	2	3	4	5
置きチラシ (プラ箱) [枚]	0	0	1	0	7
置きチラシ (箱) [枚]	0	0	0	0	0
おみくじ型チラシ [枚]	9	15	3	9	8



図表 7 各年の介入経過日数別チラシ配布枚数

2023 年のおみくじ型チラシの配布は 1 週間で終了しており、仕掛けの持続性についての検証が不十分であった。そこで 2024 年は 1 週間、2025 年は 2 週間追加で検証を行った。1 週間ごとのチラシ配布枚数の合計を図表 8 に示した。



図表 8 継続時のチラシ配布枚数の比較

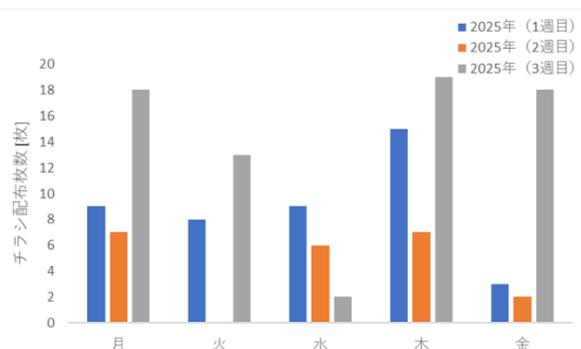
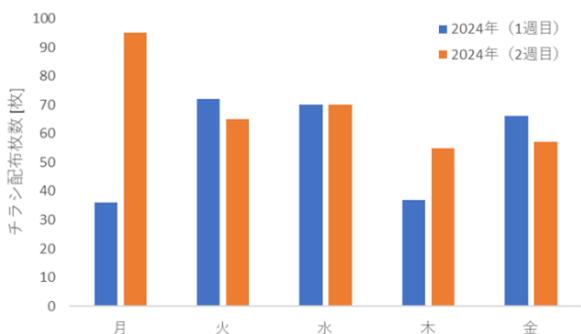
2024 年は 1 週目よりも 2 週目のほうが、配布枚数が 61 枚多かった (1.2 倍)。また、2025 年は 2 週目に配布枚数の減少がみられたが、3 週目は 1 週目よりも配布枚数が 26 枚増加していた (1.5 倍)。このことから、おみくじ型チラシは 3 週間以上継続して設置しても効果を発揮し続けることが判明した。この理由として、テレビや新聞の運勢欄に代表されるように、運勢は毎日チェックする習慣があり、おみくじもこの一環に当てはまったことが考えられる。ただし、同一人物が毎日取っているかについての調査はできておらず、今後の検証が求められる。

また、2024 年の 2 週目と 2025 年の 3 週目で配布枚数が向上した理由として、この時期が学期末であったことが考えられる。学期末の講義はテストについての情報が得られることもあり、講義への出席率が高い傾向にある。そのため、講義棟の利用者が増加し、より多くの学生がおみくじ型チラシを利用したと考えられる。

ただし、おみくじ型チラシの配布枚数と曜日との

相関は見られなかった（図表 9）．名城大学天白キャンパスは木曜日の講義数が他の曜日よりも少ない．この影響で木曜日は共通講義棟北を使用する学生の数も少ないはずだが，木曜日の配布数が他の曜日よりも劣っているという結果は得られなかった．このことから，チラシの配布枚数はラウンジ利用者数だけでなく，今回測定できていない利用者の属性の影響も受けていると考えられる．

	単位 [枚]				
	2024年 (1週目)	2024年 (2週目)	2025年 (1週目)	2025年 (2週目)	2025年 (3週目)
月	36	95	9	7	18
火	72	65	8	0	13
水	70	70	9	6	2
木	37	55	15	7	19
金	66	57	3	2	18



図表 9 曜日別のチラシ配布枚数の比較

【年度ごとの差】

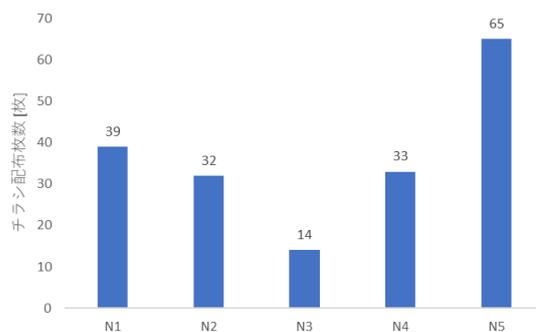
図表 3, 図表 7 を見ると,デザインに変更はありつつも,全て「おみくじ型チラシ」であるにも関わらず,年によって配布枚数に大きな差がみられた.

2025 年のチラシ配布枚数が大きく落ち込んだことについて,ラウンジ内の設置個数が多かったことが影響しそうである.

しかし,5 か所全ての配布枚数を足しても 59 枚 (1 週目), 32 枚 (2 週目), 92 枚 (3 週目) であり,他の

年よりも少ない. また,2023 年と 2024 年は設置数が同じであることから,設置数は影響しないと考えられる.

一方で,2025 年の設置箇所ごとの配布枚数を比較すると,カウンター席である N3 で配布枚数が少なかったことから,一人だとおみくじを取る人が少ないと考えられる (図表 10) .



図表 10 設置場所別のチラシ配布枚数

2025 年に実施したおみくじ型チラシ 3 週間分の合計枚数を,設置箇所ごとに集計した結果を示した.

チラシ配布枚数が少なかった 2025 年はテーブルのレイアウト変更によって,2~4 人掛けの机ばかりであり,1 人で利用する学生も多くみられた. 一方,チラシ配布枚数が多かった 2023 年,2024 年は 4~8 人掛けの机に設置していた.

このことから,おみくじ型チラシは複数人で楽しみながら取るチラシであり,少人数しか集まらない環境が配布枚数に負の影響を与えると推測される.

また,2025 年の配布枚数が少なかった別の原因として,糊付けの有無が考えられる. 糊付けをしていない場合,箱の中に入っている開きかけのチラシが,一度取って箱に戻されたチラシか,自然に開いてしまったチラシかの判断ができない.

2023 年は,手に取って (糊付けを剥がして) から箱に戻されたチラシが,1 週間で 8 枚あった. これを踏まえると,2025 年は戻されたチラシを特定できず,取られなかった枚数として数えたため,配布枚数が少なく見えている可能性がある.

加えて,2025 年の 1 週目と 2 週目は取り口の周りが透明のビニールであったため,中身が見えやすかった. そのため,箱に「おみくじ」と書いてあるが,のぞき込むとチラシが見えており,また開きかけたチラシが誰かの利用後に見える環境であった (図表 11) .



図表 11 2025 年のおみくじ型ちらしの箱内部の様子

図表 8 を見ると 2025 年のおみくじ型ちらしでは、他の週と比較して 3 週目に配布枚数が増加している。3 週目はちらしの取り口を透明から白色に変更した週である。この結果から、箱の中が見えることで、おみくじを引いて自分の運勢を知るという感覚が薄れ、利用者が減少したと考えられる。

これを踏まえると、おみくじ型ちらしにおいては糊付けや箱の中が見えない工夫などのひと手間が重要だと考えられる。しかしこれは、置きちらしの手間がかからないというメリットに反するものであった。

まとめ

今回の実験では、筆者らが 2024 年に報告した、ちらしとおみくじを融合させた「おみくじ型ちらし」の有用性について、続く 2 年間の反復実験によって検証した。その結果、3 年間すべてにおいておみくじ型ちらしは置きちらしよりも配布枚数が多く、ちらし配布効果とその持続性における有用性が見いだされた。

しかしながら、配布枚数は年によって大きく異なっており、その原因として複数人で一緒に取れる環境の有無や、ちらしの糊付けや箱の取り口のデザインなど作成時のひと手間が影響していると考えられた。これは置きちらしの、配布に手間がかからないというメリットを潰す行為であった。

一方で、おみくじ型ちらしは少なくとも 3 週間はその配布効果が持続することが明らかとなった。これは、運勢は毎日占うものだという考えと結びついていると考えられ、互惠性や手に取りやすい形状を軸にした既存研究とは異なる点である。ちらしが毎日取られる場合、単純接触効果でちらしの内容の印象を高められる可能性があり、今後はちらしの配布枚数だけでなくその中身の伝達度合についての検証

も実施したい。

謝辞

本研究は名城大学国際化推進センター様の協力を得て行われました。研究に協力いただきました名城大学教職員の皆様、学生の皆様に心より感謝申し上げます。

参考文献（スタイル「セクション」）

文献リストはスタイル「参考文献」

- [1] パンフレット制作王国: チラシは置き方を工夫すれば手に取ってもらえる! 効果的な置き方を紹介, 2024.06.18, <https://pamphlet-king.jp/column/2024/94915/> (2026.02.08 確認)
- [2] パッケージの藤田: チラシがすぐ無くなる!! 手作り紙製パンフレットスタンド, 2024.10.01, https://www.p-fujita.co.jp/no_chirashi_-pamphlet/, (2026.02.08 確認)
- [3] 松村真宏: 仕掛学一人を動かすアイデアのつくり方, 東洋経済新報社, (2016)
- [4] 陳薇, 松村真宏: チラシの置き方が配布率に与える影響に関する考察 ~巻きちらし置き配りの仕掛け~, 第 14 回仕掛学研究会, (2024) <https://shikakeology.org/pdf/SIG-TBC-014-03.pdf>, (2026.02.08 確認)
- [5] 鈴木舞衣, 酒井真弥, 原崎茜蓮: おみくじ型ちらしによるちらし持ち帰り数の向上, 第 14 回仕掛学研究会, (2024) <https://shikakeology.org/pdf/SIG-TBC-014-09.pdf>, (2026.02.08 確認)